

「千葉国際芸術祭 2025」の新情報を公表しました！

～千葉開府900年を記念し、「集中展示・発表期間」の鑑賞料は無料となります～

千葉市では、千葉開府900年記念のシンボル事業である「千葉国際芸術祭2025」をトリエンナーレとして、初めて開催します。

本日開催された、「千葉国際芸術祭2025」記者発表会において新情報として、「集中展示・発表期間」の鑑賞料無料、千葉都市モノレールオリジナルデザインホリデーフリーきっぷの販売等について公表しましたので、お知らせします。

また、新ウェブサイトを開示しましたので、併せてお知らせします。

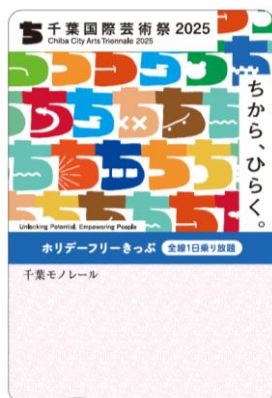
1 集中展示・発表期間の鑑賞料無料

千葉国際芸術祭の初回となる第1回は、千葉開府900年を記念し、全ての方を対象に集中展示・発表期間（9月19日（金）～11月24日（月・休））の鑑賞料が無料となります。市民の皆さまがアートプロジェクトをより気軽に体験できる機会を創出し、アートと地域の魅力に気づき、親しんでいただくとともに、千葉国際芸術祭が今後も3年に一度開催されることへの期待を高め、千葉開府900年のレガシーとしてより豊かな未来を実現していくための一歩となることを目指します。

2 千葉都市モノレール「ホリデーフリーきっぷ」千葉国際芸術祭 2025 オリジナルデザインバージョンの販売

各アートプロジェクト会場を巡っていただくために、千葉都市モノレール全線で週末・祝日に一日乗り放題となる「ホリデーフリーきっぷ」の千葉国際芸術祭 2025 オリジナルデザインバージョンを販売します。

フリーきっぷには、千葉市動物公園、千葉市美術館常設展、千葉市科学館、千葉ポートタワーの入園料・入館料などが割引になる特典が付きます。



デザイン

- 販売期間 2025年8月9日（土）～2026年3月29日（日）
- 販売金額 大人 630 円 小児 320 円
- 販売枚数 限定 5,000 枚（無くなり次第販売終了）
- 有効期間 切符購入日から券面記載の日付まで（ご利用当日のみ有効）
- 販売場所 千葉都市モノレール
千葉みなと・千葉・都賀・千城台の駅窓口
※券売機で購入した場合は通常デザインとなります。
- 利用可能日 券面記載の有効期間内の土・日曜日、祝日
および年末年始期間・ゴールデンウィーク期間の平日
<作品展示を予定している千葉都市モノレールの最寄り駅>
千葉駅、市役所前駅、動物公園駅、千葉公園駅、葭川公園駅、県庁前駅

3 芸術祭を盛り上げるボランティアネットワーク「ち組」のメンバー募集

千葉国際芸術祭 2025 を一緒に盛り上げるボランティアネットワーク「ち組」のメンバーを募集します。千葉市にゆかりのある方（市民の方はもちろん、出身・元在住・在勤・在学も大歓迎）であれば、どなたでも参加可能です。活動内容は、作品制作の補助、ワークショップ運営サポート、集中展示・発表期間中の作品受付や案内などです。ツアーガイドボランティアのためのインタープリター育成プログラムも実施予定です。

「千葉国際芸術祭 2025 ボランティアネットワーク」

LINE オープンチャット

【URL】<https://x.gd/gNxEG>

登録者宛に活動や講座についてのご案内をお送りします。



4 新ウェブサイトオープン

千葉国際芸術祭 2025 の楽しみ方がわかる新ウェブサイトを開きました。各アートプロジェクトの概要や参加方法、おすすめの巡り方を紹介する「楽しみ方ガイド」など、続々更新していきますので、ぜひご覧ください。

○新ウェブサイト

【URL】<https://artstriennale.city.chiba.jp/>



5 オリジナルグッズ「ち」缶バッジの販売

千葉国際芸術祭 2025 のオリジナルグッズ「ち」缶バッジの販売を開始します。また、公式オンラインショップもオープンします。



「ち」缶バッジ

●販売開始日 2025 年 6 月 26 日(木)

●販売価格 1 個 400 円(税込み)

●販売場所 ①カプセルトイ(市役所 1 階売店前)

②ネット販売(公式オンラインショップ)

【URL】<https://chibagei2025.base.shop>



6 アーティスト・アートプロジェクト

32組の国内外のアーティストが、市内各地で多様なアートプロジェクトを展開します。各アートプロジェクトの詳細は別添「アートプロジェクトについて」をご参照ください。



安西剛「Giant Micro Plastic」



栗原良彰「わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！」

7 参加募集プロジェクト（今後も追加予定。詳しくは新ウェブサイトでご案内します）

プロジェクト	募集期間
サイモン・ウェッテム「Made to Malfunction in Chiba」 中古小型家電募集	6月15日（日）～ 7月14日（月）
アートアンデパンダン展 出品募集	6月26日（木）～ 7月31日（木）
天馬船プロジェクト ドネーション募集	6月26日（木）～ 11月2日（日）
アリーナ・ブリュミス&ジェフ・ブリュミス「家族との晩ご 飯へ贈られる絵画」参加者募集	7月1日（火）～ 7月31日（木）
前島悠太「対話について」ワークショップ （7月12日（土）、13日（日）、19日（土）開催／第一山崎 ビル屋上）	6月26日（木）～ 各開催日の3日前
諏訪部佐代子「いまあるちばの形を伝えてみよう！」ワーク ショップ （7月13日（日）、20日（日）、21日（月・祝）開催／ア ーツうなぎ）	6月26日（木）～ 各開催日の3日前
手と具「穴掘りワークショップ」 （7月26日（土）、27日（日）、8月16日（土）、17日（日） 開催／黒砂台空き地）	6月26日（木）～ 各開催日の3日前
安西剛「マイクロプラスチックで万華鏡を作ろう！」ワーク ショップ （7月27日（日）開催／稲毛ヨットハーバー）	6月26日（木）～ 7月21日（月・祝）
伊東敏光「“ガード下神殿に願う” 風鈴短冊づくりと奉納」 ワークショップ （8月11日（月・祝）開催／西千葉工作室）	7月11日（金）～ 8月4日（月）
加藤翼「引き倒し／興し：Pull and Raise/Topple」パフォー マンス （8月31日（日）開催／幸町団地）	後日ウェブサイトで発表

<参考>千葉国際芸術祭 2025 概要

「千葉国際芸術祭 2025」は、地域の可能性をひらく市民参加型アートプロジェクトの祭典です。まちなかの思わぬ場所がひらかれ、手をあげた人から活動が始まり、アーティストも生活者も来訪者も、みんなでつくる参加型の芸術祭です。

総合ディレクターに中村政人氏を迎え、「ちから、ひらく。」をコンセプトに国内外32組のアーティストによる市民参加型アートプロジェクトを実施します。本芸術祭が地域における持続的な文化創造の礎となり、千葉開府900年事業の旗艦事業として、千葉市の「人づくり」「まちづくり」「未来づくり」に寄与し、「個性豊かな新しい千葉文化の創造」の起点となることを目指します。

<会期>

- ①まちなかりサーチ・制作期間 4月～9月中旬
- ②集中展示・発表期間 9月19日（金）～11月24日（月・休）
- ③振り返り期間 12月